

# 第1回定例会

6名の議員が理事者の考えを質しました。  
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

## 一般質問

**【質問】** 昨年8月、道内に台風が相次いで上陸し、本町においても河川の氾濫などが発生し、復旧事業が行われているところですが、こうした中、町内には国が管理する一級河川はありますが、道が管理する二級河川のほか、準用河川や普通河川などが相当数あると思えます。

このうち準用河川については、市町村が指定し、市町村が管理することで一級河川及び二級河川と同様の扱いを行うこととされていますが、町内で準用河川となっている河川はどの程度あるのか伺います。



佐藤 昭男 議員

### 普通河川の管理と整備について

#### 普通河川の管理

#### 河川法に基づき管理している

町長：準用河川の指定はないが町条例に基づき管理している

考えられることから、適正な維持管理を行う必要があると考えますが。

**【答弁】(町長)**

準用河川は河川法の準用を受けることから、河川敷地を明確にする必要があり、また河川敷地としての用地の測量、整備計画の策定、必要な用地の取得、橋がかかっている場合は川幅が広がることから橋のかけかえ、道路の移設等の検討が必要となることにより、事業量・事業費もかさむことから、町としては準用河川の指定をして管理している河川はありません。

**【質問】**

普通河川については、河川法が適用されませんが、氾濫などにより損害を与えた場合、賠償の責任を負うことも

**【答弁】(町長)**

町普通河川管理条例に基づいて113カ所、延長300キロの河川を維持管理しており、危険な要因を早目に対処することが被害を減らすことにつながりますので、災害が起こったときの復旧対策はもとより、日ごろ適切に手当てをし、維持管理もしっかりと行っていくことが防災、減災につながると考えております。

今後においても水の流れを阻害するような危険要因の早期発見に努め、水路が最大限の機能を発揮できるように適切な管理を行い、災害をできるだけ減らせるよう取り組んでまいりたいと考えています。

一級河川	国土交通大臣が管理
指定区間外	国土交通大臣の直轄管理区間
指定区間	国土交通大臣が指定し知事・政令指定都市の長が管理
二級河川	都道府県知事または政令指定都市の長の管理
準用河川	市町村長の管理(河川法が準用される)
普通河川	市町村長の管理(河川法の適用を受けない)

重要度に応じた河川の管理区分

# 第1回定例会

・予算特別委員会質疑の中から③

## 公債費

### 特別養護老人ホーム 町営はいままで

**問** 町介護サービス事業特別会計繰出金は、暖房設備の更新等のため、前年よりも増額している。

町営であるがゆえに5千万円規模の繰り出しをするのだが、職員が十分なサービスを提供し、また入居者もその

**答** 各種講演委託料については、夢創を引き継いだものではなく、寿大学の講演会や少年文化劇場の委託料になりま

夢創の後を引き継いでつくりました補助金については、町芸術文化事業費補助金になります。

実績で申しますと、平成27年度の開始当初については5件、111万5千円を補助していますが。平成28年度については2件の希望があったのですが、1件が講師の都合により翌年度に実施することになり、1件、28万8千円の補助となっております。

**答** 管内で特別養護老人ホームを町営でやっているのは本町だけです。いろんな変遷がありますが、今入っている方々の年金は社会保険や厚生年金ではなく、国民年金だけの受給であります。

委託した場合、今の年金の方々が入れず、家族が負担をしなければならなくなりま

す。そういう面で、特別養護老人ホームは行政で運営することが理想と考え、今も続けています。

また、町内にはケアハウス、夢心うせんなどの施設があり、特別養護老人ホームに入れない人もそちらにお願いをしながら、両輪でやっていくことが理想だと思っております。

また、特別養護老人ホームは介護度3以上ないと入れませんので、低家賃の高齢者住宅の建設を予定しています

が、皆さんの後押しがあれば、

## 歳入

### 町税の業種別の比率はいくらか

**問** 歳入予算について、年々交付税が減らされる中、町税収入の業種別の比率はどうなっているかお聞きしたい。

**答** 個人町民税は給与、漁業を含む営業、農業、年金者を含むその他の4つに分類して

給与所得については減額傾向にあることから、総所得金額について5%減で算出しています。

営業所得については、一般消費者の購買力低下を見込み

総体で5%減としています。

農業所得については、総体で10%減と見込んでいます。

その他所得については、年金所得者の支給額が減少傾向にあることから、10%の減と見えています。

総体的に28年度総所得額の課税実績と比較し、5.6%の減と見込んでいます。

が、これについては28年度の所得が伸びたことによるもので、28年度と比較すると減なのですが、27年度総所得実績と比較すると0.5%の増となっております。

### 固定資産税の増加の要因は何か

**問** 固定資産税は前年度から見ると1千万円増だが、この要因は何か。

**答** 固定資産税は、土地、家屋、償却資産の課税区分ごとの課税標準額により調定額を計上しています。

調定額は、確実に収納が見込める額の96%を計上しています。予算上は28年度当初予算と比較して1225万2千円増となっておりますが、これは平成28年度の異動分における課税標準額が増加したため

です。

**【質問】**

近年の異常気象による大雨などにより、小河川や排水路などへの被害が発生している状況を踏まえ、応急的な復旧だけではなく、根本的な改修を行う必要があると考え

**【答弁】(町長)**

一つの方法としては、砂防ダムの設置などが必要だろうと考えていますが、いずれにしても現場に重機が入っていない小さい河川もありますので、まず全体を含めて適切な時期に工事ができるよう対応していきたいと考えています。



# 第1回定例会

・一般質問②



本見 研介 議員

## 社会教育中期計画

### 学校図書館の取り組みは

町長：… 図書担当教諭との会議で  
学校図書室の現状を把握

## 第7次社会教育中期計画と その対応について

【質問】  
学校図書との連携、学校司書の配置を今後どのように取り組むのか伺います。

【答弁】(教育長)

各学校の図書担当教諭との打ち合わせ会議により、学校図書室の現状把握や課題解決に向け協議しています。最近では授業で使用する図書の貸出希望も増えてきており、今後学校との連携に努める考えです。学校司書の配置については検討中ですが、図書館司書の派遣を考えています。

【質問】  
生きがいづくり分野の課題として世代・分野を超えた交流が不十分とされています。学習活動、団体活動への参加の促進とその環境の整備をどのように考えていますか。

【質問】

生きがいづくり分野の課題として世代・分野を超えた交流が不十分とされています。学習活動、団体活動への参加の促進とその環境の整備をどのように考えていますか。

め、今後どのように推進していくのか伺います。

【答弁】(教育長)  
改善事項を洗い出し、参加を促進する環境づくり、参加率の高い事業内容について、社会教育委員、スポーツ推進員と相談し事業展開を図っていきます。

【質問】  
開拓資料館の整備を考えているのか伺います。

【答弁】(教育長)  
新たな収蔵物の収集と展示、開拓資料館の活用を含め、社会教育委員と相談し取り組みを模索していく考えです。

【質問】  
価値ある自然景観の整備について、どのように考えているのか伺います。

【質問】

価値ある自然景観の整備について、どのように考えているのか伺います。

【答弁】(教育長)  
昭和60年に観光PRのため、町内の名勝景観を選定したサロマ八景が文化財として取り上げられました。現存しているかどうか再確認しながら、郷土資料館の中で風景の説明をしていきたいと考えています。

## 認知症総合支援 事業について

【質問】

認知症総合支援事業は、保健、医療、福祉の専門職が認知症の初期の段階で、総合的な支援を行うものですが、昨年末の道の調査では、本町は実施「未定」となっています。現状について伺います。

【答弁】(町長)

先般の介護保険法の改正により、地域支援事業の中に

包括的支援事業として在宅医療・介護連携推進事業、生活支援の体制整備事業、認知症対策総合支援事業の3事業を、平成30年4月までに全ての自治体において開始するよう義務づけがなされました。本町では、開始できる事業については早期に着手してまいりました。地域包括支援センター職員の研修受講により事業に必要な人材を確保することができ、3月1日付で認知症初期集中支援チームを配置しています。

また、認知症地域支援推進員の配置についても、本年4月から町内の社会福祉法人に委託し事務を進めていきたいと考えています。全ての事業としては開始時期未定という中で進めていたため、調査では単に開始時期を未定と回答したものです。

【質問】

今後、クリニックさろまの院長が中心となり進めていくと考えてよいのか伺います。

【答弁】(副町長)

クリニックの医師がサポート医の資格を取り、3月から認知症初期集中支援チームを配置しました。今後、積極的に取り組んでいく考えです。

# 第1回定例会

・一般質問③



三田 真美 議員

## 公共施設整備について

【質問】

老朽化している施設の改修にあわせて洋式化していないトイレも改修していますが、特に佐呂間コミュニティセンターは2階は1箇所洋式化されていますが1階にはなく、身障者用のトイレは奥にあり場所がわかりづらい、利用する町民も洋式に慣れていることから、コミセンを含め、今後施設の洋式化を図っていく考えはあるのか伺います。

【答弁】(町長)

従来施設の老朽化に伴う改修や地域住民からの要望により順次洋式化を進めてきましたが、一部の施設では未設置で、コミセンも一階は身障者用トイレしか洋式化されてい

## 佐呂間コミュニティ・公共施設のトイレ洋式化の計画は

町長：… 平成30年以降  
施設改修にあわせて洋式化

ません。平成30年以降の改修計画にあわせてトイレの洋式化と、他の施設についても地域の皆さんの意見のもと、順次整備していきます。

【質問】

アスベスト調査結果で4箇所の使用が確認されたところですが、特別養護老人ホームと若左コミセンは煙突内部の落下があることから改修すると報告を受けました。残りの2箇所、佐呂間小学校の体育館は煙突内部の落下などはないので調査結果を見ながら判断することですが、児童の安全を考えると早めの対処が必要だと思いが、考えを伺います。

## 地域おこし協力隊 について

【質問】

オホーツク管内の協力隊の取り組みが新聞などで紹介されています。違う地域で育った新鮮な発想や色々な経験の持ち主ならではの、地元町民には気づかない佐呂間の良さや価値が見いだせるかについて伺います。協力隊の導入について伺います。

【答弁】(町長)

この協力隊の取り組みは以

前にも質問がありました。オホーツク管内では津別町9名、清里町2名、滝上町2名、西興部村4名など6市町村で20名を受け入れています。地域住民との認識がかわみわすトラブルが発生するケースもあるなど、現状では応募される方に対して期待の反面、不安も大きく、他市町村の事例を参考に引き続き検討していきます。

【質問】

導入により今後進めていくコミュニティスクール、CS学校運営協議会制度導入のコーディネートや、各女性団体が協力しあい事業を展開していく際の人材活用、また佐呂間の魅力や情報の発信などが期待できます。

【答弁】(町長)

導入を諦めたわけではありませんが、庁内で協議させていたが、後発ということもあり、他市の状況を見ながら前向きに考えていきます。



# 第1回定例会

・一般質問⑤

**【質問】** 平成30年度から国保の都道府県化へと移りますが、市町村の役割である保険証交付、被保険者への賦課徴収、保険給付、保健事業はこれまでと変わりません。国は、低所得者の多い保険者対策として財政支援を行っていますが、27年度から29年度における町への実績及び見込み額について伺います。

**【答弁】(町長)** 国保負担として27年度は676万5千円、28年度は664万3千円、29年度は28年度と同額と予想されます。道費は、27年度以降合わせると600万円の支給増となっています。

**【質問】** 厚労省はこの支援金によって1人当たり5千円の引き下げ効果があったとしています。が、どう効果がありましたか。

**【答弁】(町民課長)** 医療費が高騰している分、被保険者の負担減にはつながっていないと思います。

**【質問】** 激変緩和措置が終わった時点で引き上がる国保税に對し、国保加入者の子育て世帯への軽減策など、町独自の負担軽減策について伺います。

**【答弁】(副町長)** 国保制度の中で、子育て世帯を支援するために給付をすることは、制度上難しいと考えます。

**【質問】** 平成30年4月までに実施となっている①在宅医療・介護連携の推進8項目、②認知症施策の推進、③生活支援サービス体制整備の進捗状況について伺います。

**【答弁】(町長)** ①8項目については、それぞれホームページ作成や地域ケア会議での情報ツール作成、地域包括支援センターでの相談支援の実施、遠紋地域在宅医療推進ネットワーク協議会における連携、またネットワーク協議会及び町が主催する研修会などを主な事業として行っています。

町単独では困難な項目は佐呂間、遠軽、湧別の3町での



地域支援推進員が配置されるケアハウスの事務室

# 第1回定例会

・一般質問④



高橋紀久 議員

## クリニックさろまの医師体制について

**【質問】** 運営開始から既に数回の院長の交代があり、地域医療において患者それぞれの特性や地域の実情などを把握して治療に臨んでもらうにも、院長の在任期間が短く、一抹の不安を感じている町民がいるのも事実です。これまでの医師、スタッフの体制に對しどう捉え、そして今後どのような展望であるのか伺います。

**【答弁】(町長)** クリニックさろまは、町が開設者、医療法人恵尚会が指定管理者となり効率的な管理運営を行っています。

町は、地域医療を十分理解した医師に長く診療していただくことを希望しています。

が、医師の配置については指定管理者に方針を委ねていて、町独自の人材確保は困難です。看護師の募集をかけても地元から応募がないという現状ですが、常勤医の2名体制など町の地域医療体制強化を考えた指定管理者の対応に高い評価を与えています。

**【質問】** 医療体制のさらなる充実の実現のため、要望だけではなく、今後指定管理者に人事体制や運営についての提言を考えているのか伺います。

**【答弁】(町長)** クリニックさろま運営委員会での意見や提言は、十分に伝えています。

経営安定に向けて、医師を

初めとする組織体制の強化が不可欠なので、看護師等スタッフの募集に町も継続して支援を惜しまない心構えであり、町を挙げた支援体制の強化が最大の目標です。

**【質問】** クリニックさろまの平成29年度の事業計画と今後の展望を伺います。

**【答弁】(町長)** CT診断装置を活用した予防医療の強化、企業のドックに力を入れていく考えです。

**【答弁】(副町長)** 健診体制(予防医療)の整備のため医療機器を導入し、専門の技師の配置の目途も立ちました。医師以外の充実も図り、予防体制を確立することで指定管理者と協議をしています。

**【答弁】(保健福祉課長)** 平成29年度の収支計画は、

ほぼ前年度並みで、平成28年度から患者数の増加が見込まれ、医療収入の増を期待しています。

**【質問】** 今後、町として医師を含めた医療の道を志す者への支援、もしくは育成の考えがあるのか伺います。

**【答弁】(町長)** 指定管理者の責任において人材を確保しているのが現状であり、民間のノウハウを最大限発揮して町立診療所としての医療体制を維持している状況ですので、今後も指定管理者の運営方針を尊重した支援に努めてまいります。

**【質問】** 本町出身の方が医療の道に進み、将来帰ってきて町の病院に勤めたいとなった場合にそれを手助けするような手立てというのはあるのかどうか伺います。

**【答弁】(副町長)** 大歓迎ですし、町を挙げて医療法人と打ち合わせをしたいと考えています。



但木早苗 議員

## 国民健康保険事業について

## 包括的支援事業について

**包括的支援事業  
在宅医療・介護連携の進捗は  
3町での広域的協議も検討**

町長…相談支援や協議会連携の他

広域的協議を考えています。

②認知症施策については、医療と介護の連携強化や効果的な支援体制の強化を図ることを目的として、3月1日付で初期集中支援チームを配置し、チーム員はクリニックさろまに、地域支援推進員の配置については4月からケアハウス(社会福祉法人サロマ福祉会)に委託し開始したいと考えています。

③生活支援コーディネーターについては、地域包括支援センターの職員か、社会福祉協議会、または他の団体がやるのかを考慮し、平成29年度中には配置を行うこととしています。

クリニックさろまの院長や代  
医師体制をどう捉えるか

町長…常勤医の2名体制など  
指定管理者の対応を評価

町で運営している施設  
などで必要な専門職の  
人材育成について



# 議会ニュース

・委員会レポート①

## 第1回定例会

・一般質問⑥



まだ雪の残る高齢者福祉住宅の建設予定地

### 総務福祉 常任委員会 高齢者福祉住宅 建設事業を調査

- 2月21日
- ◎所管事務調査
- ①職員の給与に関する条例の一部改正
- ②ふるさと納税業務実施事業
- ③ケアハウス施設維持改修事業

- ④老人福祉センター改修事業
- ⑤高齢者福祉住宅建設事業
- その他

第1回定例会に向け、平成29年度の主要事業を中心に調査を実施いたしました。

### 産業文教 常任委員会 建設課所管事業を 調査

- 2月22日
- ◎所管事務調査
- ①道営土地改良事業
- ②町有林整備事業（造林・保育・素材生産）
- ③建設課所管事業（土木費）
- ④教育委員会管理課所管事業
- ⑤武道館・温水プール所管事業
- その他

### 議会運営委員会 議会懇談会の開催に 向け協議を進める

- 2月8日
- ◎議会懇談会について
- ◎第1回定例会運営について
- ①議案の提出状況及び概要説明
- ②議案の取扱について
- ③会期及び議事日程について
- ④次期議会運営委員会の開催について
- ◎議会懇談会について
- ①実施内容について
- ②寿大学議会懇談会について

- 3月6日
- ◎第1回定例会運営について
- ①一般質問の提出状況及び概要説明
- ②議事日程について
- ③次回議会運営委員会の開催について
- 3月14日
- ◎第1回定例会運営について
- ①追加議案等の提出状況及び概要説明について
- ②議案等の取扱について
- ③議事日程について
- ④議員の派遣承認について（追加）
- ◎平成29年度議会主要行事予定について
- 議会懇談会の開催について協議を進め、今年度は2カ所での実施を決定した他、寿大学での開催についても協議いたしました。
- また、3月7日から開催の第1回定例会の運営について協議いたしました。



土田 剛 議員

### 町の財政運営について

【質問】  
これからの町の財政について不安の声が聞かれることから、質問をいたします。

クリニックさるまの建設事業が一段落し、予算規模も平準化されていくものと思われませんが、当初予算での基金の繰入額や地方債の借入額が増加し、財政運営が懸念される所です。今後起債の償還も始まりますが、状況をどう考えているかお伺いします。

【答弁】（町長）  
本町は、歳入を国からの交付金、基金繰り入れの充当などにより賄っています。財源の4割以上を地方交付税に依存し、今後も厳しい状況が続くものと考えています。平成29年度当初予算について

### 町の財政運営を懸念 基金・起債の今後の状況は

町長：…基金を取り崩すことなく  
健全な財政運営に努める

では、将来を見据え、限られた財源で独自施策の編成をいたしました。クリニックさるま建設期間中は老朽施設の維持改修を先送りしたため、予算総額は増加しています。

平成27年末の起債借入残高は87億3千万円で、基金の積立額は60億6千万円であり、起債の約7割を基金としています。

一般会計補正予算で、当初見込みの基金繰入を全部減額し、余剰金を新たに基金に積み上げ、最終的に2億円前後の基金への積み込みがなされるものと考えています。クリニックさるま建設事業については、4年間の総事業費が約16億4千万円で、このうち約13億6千万円を過疎債

借り入れし、平成31年度から元金の償還が始まります。いずれも借入額の分が過疎債であり、元利償還の7割が普通交付税で算入されます。

建設に当たっては一般財源をほぼ過疎債で賄うことができたため、平成20年度から各公共施設基金に積み上げた基金10億円を取り崩しておらず、財政的な心配はないものと考えています。

このようなことから、本町は健全な財政運営を遂行していると判断し、今後も推移していくと考えています。しかし、国の財政状況に左右されますので、今後も経常経費抑制に努めながら、国の補助金・交付金の活用、有利な起債の借り入れに年度ごとの事業に対しても充当させるよう努め、健全な財政運営の維持に努める考えです。

【質問】  
基金の推移、公債の推移について今後の見通しをお伺いします。

【答弁】（企画財政課長）  
歳出における普通建設事業費は、平成29年度では約9億1千万円、その後毎年11億円から13億円の事業を実施する場合、毎年3億円から5億円の基金の取り崩し、繰り入れの必要があります。

平成28年度末の一般会計基金残高見込み額は約51億円で、平成33年末には推計で34億円となります。これについては、総合計画の後期実施計画での事業費をベースに見込んでいますが、これを毎年9億円から10億円程度に抑さえることにより、基金残高もそれほど減額とはならず推移すると見込まれます。

一般会計の起債借入残高については、平成28年度末起債残高の約70億円から72億円に推移するという推計となっておりますが、これについても普通建設事業費の抑制により起債の借入額を抑えることができ、必然的に減額が見込まれ、後年度の償還金も減り、基金繰り入れの減額につながるものと考えています。

# 委員会レポート

29年2月～  
29年4月